

うない通信

国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室 ニュースレター Vol.16 2020年3月発行

医学部附属病院初の女性教授が誕生しました



銘苅 桂子 先生

琉球大学医学部附属病院
周産母子センター 教授
1999年琉球大学医学部医学科卒業後、
同大医学部産婦人科に入局。
2017年同大医局長に就任し、
2019年12月より現職。

本学では、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型・先端型）」において女性研究者の上位職登用を推進しています。その実効性のある取り組みとして、平成30年度に全学教員ポスト戦略的再配分（重点改革推進枠）による「自然科学系分野における女性教授限定公募」を実施し、複数の自然科学系部局等より提出された取り組み（公募案）の中から、本学医学部附属病院が採択を受けました。（うない通信Vol.14において既報の通り）

これによって公募が行われ、厳正かつ公正な選考を経て、令和元年12月1日付で琉球大学医学部附属病院周産母子センターに銘苅桂子教授が、医学部附属病院初の女性教授として採用・着任されることとなりました。

仕事と家庭を両立しながらリーダーシップを発揮されている銘苅先生は、多くの女性研究者のロールモデルと言えるでしょう。今回の銘苅先生の教授就任の朗報はすでに県内メディアでも取り上げられ、学内外からの注目度も極めて高いことが伺えます。銘苅先生の益々のご活躍を期待しています。

かなさん介護セミナーを開催しました

令和2年2月18日（火）、本学本部棟第一研修室において、介護・暮らしジャーナリストの太田差恵子氏を講師にお迎えし、かなさん介護セミナー「離れて暮らす親の介護～知っておくべき心構えと実用情報～」を開催しました。教職員22名が参加しました。

「介護」といえば暗いイメージを抱きがちですが、太田氏は「介護をプロジェクト感覚で捉える」という発想のもと、「離れていてもマネジメントならできる」「介護は情報戦」「介護は親の自立を応援するもの、だから親のお金でプランニング」といった、目から鱗のお話を次々と展開されました。具体的な事例や公的な制度・サービスなどの有意義な情報もあれば、元気なうちの親とのコミュニケーションや兄弟姉妹との信頼関係の構築が大切という、「家族」について考えさせられる助言もあり、充実した1時間半でした。

ちなみに、ジェンダー協働推進室には「女性研究者介護帰省費用補助事業」という支援事業がありますが、太田氏によれば全国の大学でも珍しい、きわめて良い取組だとのこと。

今後も当室では、事業やセミナーを通して、介護に向き合う教職員を支えてまいります。

（ジェンダー協働推進室 副室長 萩野 敦子）





スキルアップセミナー「成果につながるファイリング」を開催しました

令和2年2月20日(木)、ファイリング・コンサルタントの小野裕子氏を講師にお迎えし、スキルアップセミナーを開催しました。

昨年7月に行われた「ダイバーシティ推進トップセミナー」(「うない通信 Vol.15」既報の通り)で働き方改革の好事例として紹介された『ペーパー・データファイリング』の方法についてぜひ学びたい、仕事の効率化を実現したいとの要望が寄せられ、今回のセミナーが実現しました。女性研究者18名が参加しました。

セミナーでは、ファイリングの極意は「捨共流」であり、研究や講義、会議等で増えていく資料やデータを効率よく整理するための分類方法、収納方法、処分の見極め方やタイミング等について説明がありました。デスク周りをきれいに整えることからでも職場環境は大きく改善し、それによって仕事の効率が上がり、成果につながっていくと、実例の紹介を交えながらお話がありました。実際にファイリングによって整理・整頓された職場のBefore-Afterの写真には驚きの声があがり、ファイリングで使われるツールや収納見本には参加者から多くの質問が寄せられていました。



英語でおこなうリーダーシップ研修「いざという時に役立つパブリックスピーキング&ファシリテーション」を開催しました



講師を務めたクーパー氏

令和元年度の英語でおこなうリーダーシップ研修を、『パブリックスピーキング』(令和2年3月4日(水))、『ファシリテーション』(同年3月11日(水))の2回に分けて、アイリーン・トモエ・クーパー氏(株式会社PRESENT 代表取締役社長)を講師にお迎えし、開催しました。

セミナーでの講演や学会でのプレゼンテーションにおける英語でのスピーチを、自信を持ってより効果的に伝える方法を学ぶことを目的に行われた『パブリックスピーキング』では、講師からはじめにスピーチを上達させるための重要なポイントとして、計画、準備、練習の3つが挙げられました。また、スピーチやプレゼンテーションが上手な人は、そのために十分な時間をかけて準備と練習を行っており、成功させるためにはとにかく練習することが一番、との説明がありました。あわせて心構えやスピーチの組み立て方について学んだ参加者は、実際に3分のショートスピーチを作成し、発表では習得したスキルを早速実践していました。

次に行われた、会議や研究ミーティング等のスムーズな進行やコミュニケーションにおける自己表現の方法を学ぶ『ファシリテーション』では、ファシリテーターとはどのような役割を担っているのか、会議等の場をどのようにまとめ、進めていくのかを学びました。ファシリテーターは、会の参加者が考えることやコミュニケーションすることを助ける役割を担っており、スムーズに進行させるためには共通のルールやゴールを予め設定し、参加者に伝えることが重要であると説明がありました。また、会の趣旨や参加者、会場を事前に把握するなどの事前準備の必要性や、参加者同士がコミュニケーションを取りやすくするための方法なども紹介されました。実習では、時間の制約がある中で講師がどのように会を進行していくかを参加者として体験し、その手法を学びました。



『パブリックスピーキング』(3月4日)



大学入試センター試験時における託児室を開設しました



令和2年1月18日(土)、19日(日)の2日間、大学入試センター試験が行われるのにあわせて、試験業務に携わる本学の教職員の育児を支援するため、学内に託児室を開設しました。

本部棟第一研修室を会場に、「西原ふぁみりーさぼーと きらきら」さんによる保育が行われ、子どもたちはロケット風船の工作やおやつ作りなどに参加しながら、仲良く楽しく過ごしていました。託児室は教職員4名が利用し、幼児・児童6名を預かりました。

国立大学法人琉球大学岸本基金寄附金 女子大学院生対象グローバル人材育成事業



本学では、平成30年度より琉球大学岸本基金寄附金における人材育成事業の一環として、「女子大学院生対象グローバル人材育成事業」を実施しており、今年度は博士後期課程および専門職学位課程に在籍する女子大学院生を対象に募集を行いました。

本事業は、本学の女子大学院生を海外の研究機関等に派遣し、受け入れ先研究者の指導の下、国際的な研究環境におけるリサーチに携わり、異文化の学習環境に触れ、多様な学問文化を経験する機会を提供するものです。

選考の結果、今年度は計3名の女子大学院生に支援を行いました。



採 択 者



- 澳津 志帆さん(医学研究科 博士後期課程 医学専攻)
- 比嘉 麻莉奈さん(人文社会科学研究科 博士後期課程 比較地域文化学専攻)
- ソーン ギュンイーさん(理工学研究科 博士後期課程 海洋環境学専攻)

令和元年10月～令和2年3月の 主な支援事業

第2期研究活動等支援員制度

育児や介護といったライフイベント中の研究者の研究力を向上させることを目的に、教育研究支援として研究補助員を配置しています。

今年度第2期には8名の研究者が採択され、10名の支援員を配置しました。

英文校閲費用補助事業

女性研究者のキャリアアップを推進することを目的に、学術雑誌への投稿論文や学会発表用の英文校閲に係る費用を補助しました。

今年度は2名の研究者が採択されました。

国際学会派遣費用補助事業 追加支援

女性研究者を対象に、本人自らが研究成果発表を行う国際学会等の参加に必要な旅費を一部補助しています。

今年度既に採択された3名に加えて1名を新たに採択し、支援を行いました。

うない基金への寄附金のお願い

琉球大学うない女性研究者・リーダー育成基金(うない基金)は、琉球大学に所属する女性研究者および女子学生の教育研究活動および人材育成に関する事業を助成するものです。次代を拓く優秀な女性リーダーを輩出することにより、地域社会・国際社会に貢献するとともに、男女共同参画ならびにダイバーシティを推進することを目的としています。趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

銀行口座振込、または琉球大学Webサイト(<http://www.kikin.jim.u-ryukyu.ac.jp/>)からクレジットカード決済によるお手続きが可能です。

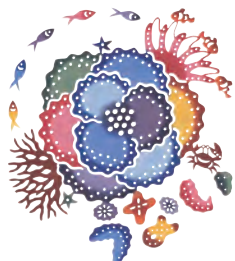
お問合せ先: 琉球大学ジェンダー協働推進室
Email: gender@acs.u-ryukyu.ac.jp
Tel: 098-895-8675



今後の予定

- 第1期研究活動等支援員制度 3月募集開始
- 育児サポート・サービス利用料補助事業 3月募集開始
- 病児・病後児保育利用料補助事業 3月募集開始
- 女性研究者介護帰省費用補助事業 3月募集開始

本ニュースレターを発行するにあたってご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。



国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室 Gender Equality Promotion Office, University of the Ryukyus

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 大学本部1階 TEL: 098-895-8675

E-mail: gender@acs.u-ryukyu.ac.jp URL: <http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/>